

下関医療圏において 4 病院体制から 3 病院体制となる場合の 病院の連携に対する下関市の考え方について（案）

下関医療圏の病院再編・統合を中間報告等を踏まえ進めるにあたり、下関医療圏 3 病院による急性期医療体制を持続可能とすることで各地域の住民が、地域内にあって、十分な急性期医療を享受できることを連携の目的としたい。

1. 市民病院と下関医療センターが統合する場合は、新病院を他の 2 病院を上回らない程度の必要十分な病床規模とし、3 病院間の機能再編を並行して行うなどにより、統合時点において、3 病院の規模・機能が持続可能なものになりたい。
2. 大学医局に以下の点について理解を求め、医師確保に協力をお願いしたい。
 - ・ 今後の下関医療圏の急性期医療を 3 病院で安定的に担うことができるよう、3 病院が連携の枠組みを構築することや必要な再編を行うこと。
3. 3 病院は、下関医療圏の 3 病院による急性期医療体制を効率的に持続可能なものとするよう、各病院が過度な競争を回避する等のため、定期的な協議を行いながら役割分担・連携強化等の取り組みを行いつつ、その在り方を適宜見直す仕組みを構築したい。
4. 新病院の開院後、上記取り組みを行ってもなお、下関医療圏の 3 病院による急性期医療体制の効率的な持続可能性に支障が生じると見込まれる場合には、3 病院に対する補助金、繰出し等の適正化及び 3 病院それぞれの状況に応じた支援を組み合わせた対応を行いたい。